

観光社会資本の事例

テーマ	ダム湖面を利用した水上スポーツによる体験型観光
【施設の状況写真】	
	
<p>耶馬溪ダムとダム湖を望む。近隣には青の洞門や紅葉の深耶馬溪などの観光スポットが数多く存在する。</p>	<p>通常は一般利用客に対し開放しており、初心者も含め多くの観光客が利用しており、日常では味わえない体験を喜んでいる。</p>
【施設の利用写真】	
	
<p>ダムをバックにウエークボードを楽しんでいる。周辺は森林に覆われており、湖面利用者は水上スキーの他景観も楽しむことが出来</p>	<p>湖面を活用しウエークボード全日本選手権等水上スポーツのメッカとして利用されており、選手の他多くの観客も集めている。</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>耶馬溪ダムは、耶馬・日田・英彦山国定公園の中央に位置し、「青の洞門」や紅葉で有名な「深耶馬溪」等があり、これらの中継地点となっているため、所在地となる中津市だけでなく全国各地から訪れる観光客が多い。</p>	
<p>ダム湖を利用した観光施設として地元中津市が運営する耶馬溪アクアパークがあり、水上スキー(ウエークボード)のほか、バナナボート、湖面遊覧等も行っており、多くの観光客に利用されている。</p>	

テーマ	ダム湖面を利用した水上スポーツによる体験型観光
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>○名称 耶馬溪ダム</p> <p>○所在地 大分県中津市耶馬溪町大字柿坂</p> <p>○事業名 河川総合開発事業費、耶馬溪アクアパーク事業</p> <p>○事業主体 国、中津市(旧耶馬溪町)</p> <p>○事業期間 ダム:昭和45年～昭和59年 アクアパーク:平成4年～平成6年</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>○利水効果</p> <p>山国川は流域が小さく、かつ急流河川のため河川流量の多い時と少ないときの差が大きく、中津市をはじめ北九州市までの間の各地方公共団体では、しばしば渇水に見舞われてきた。耶馬溪ダムの完成により安定的な取水が可能となり、およそ84万人の生活を支える水ガメとなっている。</p> <p>○治水効果</p> <p>山国川流域では、昭和19年、28年等大きな洪水被害が発生してきたが、昭和60年3月に耶馬溪ダムが完成により洪水時の最大流量が低減されるようになった。</p>	
<p>【位置図】</p>  <p>The map shows the Yamakuni River basin in Nakatsu City, Oita Prefecture. Key features include the Yamakuni Dam and Aqua Park (highlighted in red), National Route 212, National Route 500, and Prefectural Route 28. Other locations shown include Nakatsu City, Nakatsu Station, and various villages like Yamakuni and Akahata. The map also indicates the location of the dam and park relative to the river and surrounding roads.</p>	
<p>【関連ホームページ】 観光協会・イベント関係 http://www.city-nakatsu.jp</p> <p>ダム湖関係 http://www.qsr.mlit.go.jp/yamakuni/</p>	